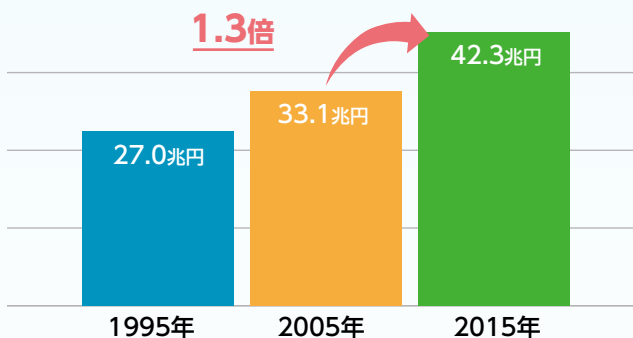


平成30年4月から 国保制度が一部変わります!

国民医療費の現状と今後の見込み

この10年で、
70歳以上の高齢者数は **1.3倍** に、
国民医療費は **1.3倍** になりました。
団塊世代が全員75歳以上になる2025年には、
国民医療費の総額は **61.8兆円**
にもなる見込みです。

【国民医療費 10年ごとの推移】



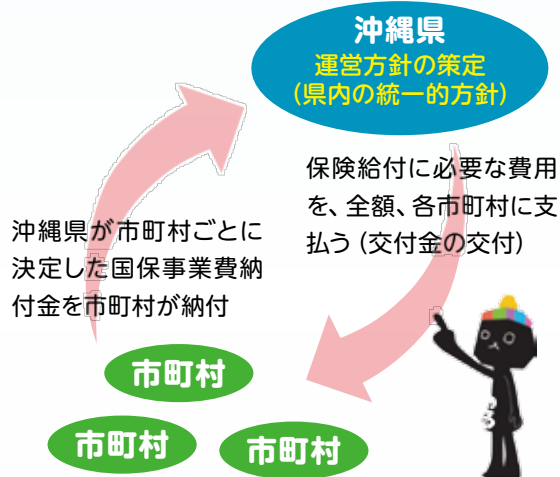
国民健康保険制度の見直し

背景

国民健康保険制度は、日本の国民皆保険の基盤となる仕組みですが、「年齢構成が高く医療費水準が高い」「所得水準が低く保険税の負担が重い」「財政運営が不安定になるリスクの高い小規模保険者が多く、財政赤字の保険者も多く存在する」という構造的な課題を抱えていました。

見直しの柱

- ▶ 国の責任として約3,400億円の追加的な財政支援（公費拡充）を行います。
- ▶ 都道府県と市町村がともに国民健康保険の保険者となり、それぞれの役割を担います。



国民皆保険を将来にわたって守り続けるため、平成30年4月から、これまでの市町村に加え、都道府県も国民健康保険制度を担うことになりました

沖縄県とうるま市の役割分担

沖縄県の主な役割
・ 財政運営の責任主体
・ 国保運営方針に基づき、事務の効率化、標準化、広域化を推進
・ 市町村ごとの標準保健税率を算定・公表
・ 保険給付費等交付金の市町村への支払い

うるま市の主な役割
・ 国保事業費納付金を沖縄県に納付
・ 資格を管理（被保険者証等の発行）
・ 県の示す標準保険税率等を参考に保険税率を決定
・ 保険税の賦課・徴収
・ 保険給付の決定、支給

わからないこと、困ったことがあれば、下記までご相談ください

国民健康保険の窓口業務は、平成30年4月以降も引き続きうるま市で行います。

国保税、資格得喪などについて → 国民健康保険課 賦課徴収係 ☎973-3202
療養の給付などについて → // 国保給付係 ☎989-5347